

発行 車体発 20 第 127 号  
2020 年 5 月 7 日

## 2019 年度 日本自動車車体工業会会員会社の車体生産実績について

2019 年度の当会会員会社の車体生産台数実績がまとまりましたのでお知らせいたします。

当会会員会社の車体生産台数実績は、2,304,370 台で前年度比 98.7% と 2 年ぶりの前年度割れとなった。このうち新車メーカーからの受託生産車である乗・商用小型等を除く当会特有の車体生産台数は、183,249 台で同 97.7% と 2 年連続の前年度割れとなった。車種別では、特装車、特種車、トレーラ、大中型バスが増加したものの、平ボデートラック、バンが減少した。

車種	台数 (台)	前年度比 (%)	前年度比動向
特装車 (*1)	60,790	100.4	2018 年度以降 2 年連続のプラス
特種車 (*2)	12,085	106.0	2017 年度以来 2 年ぶりのプラス
平ボデートラック	15,563	93.3	2016 年度以降 3 年ぶりのマイナス
バン	80,484	94.4	2018 年度以降 2 年連続のマイナス
トレーラ	9,437	108.1	2013 年度以降 7 年連続のプラス
大中型バス	4,890	101.3	2016 年度以来 3 年ぶりのプラス
当会特有車	183,249	97.7	2018 年度以降 2 年連続のマイナス
シャシメーカー標準荷台トラック	14,802	100.4	2014 年度以来 5 年ぶりのプラス
コミューター・マイクロバス	77,970	93.2	2015 年度以降 5 年連続のマイナス
乗・商用小型、軽	2,028,349	99.0	2017 年度以来 2 年ぶりのマイナス
合計	2,304,370	98.7	2017 年度以来 2 年ぶりのマイナス

\* 1 特装車：ダンプ車、トラックミキサ車、塵芥車 等

\* 2 特種車：車いす移動車、警察車、医療防疫車 等

詳細については、当会ホームページを参照願います。

(本件の問合せ先) 日本自動車車体工業会 事務局 小森